

議会だより



五穀豊穡。実りの秋を願う。

長島町の有形民俗文化財 山門野の田の神

Contents

- 臨時会・定例会で決まったこと…………… 4
- 町政を問う（一般質問）…………… 8
 - 2つの常任委員会で議案等審査…………… 12
 - 研修報告…………… 14

7億9282万8千円追加 総額116億4743万4千円



↑ 鷹巣診療所整備予定地を視察する総務民生常任委員会

長島町議会は令和元年第1回長島町議会臨時会を5月14日に開会し、平成30年度長島町繰越明許費繰越計算書の報告を受けたほか、診療所のMRI装置グレードアップ事業売買契約や小・中学校空調設備設置工事請負契約の締結など議案9件を可決。その他、平成30年度の補正予算などの専決処分2件を承認し、監査委員の選任について同意した。

また、令和元年第2回長島町議会定例会が6月7日から17日までの11日間の会期で開かれ、長島町森林環境譲与税基金条例の制定や一般会計並びに特別会計の補正予算など、議案13件可決、陳情1件を採択した。

令和元年度の一般会計予算に

令和元年度の一般会計補正予算のほか、国民健康保険、国民健康保険診療施設、へき地診療施設、観光施設の4特別会計補正予算を常任委員会で審議した。採決の結果、本会議において全予算案について原案可決した。

今回、計上された予算の主な事業は次のとおり。

主な事業

耐震性貯水槽新設工事費（山門野・小浜）	13,886千円
獅子島コミュニティバス整備事業費	8,227千円
獅子島島内連絡車整備事業費	4,450千円
再生可能エネルギー産業利用可能性調査に係る経費	29,361千円
プレミアム付商品券事業費	19,915千円
鷹巣診療所及び医師住宅新築工事費	1,110,115千円
危険空家解体撤去費	12,708千円
指江地区景観整備事業費	13,838千円
長島ぐるっと造形物探訪ふれあい施設整備事業費	24,382千円
バレイショの種イモ自給体制構築プロジェクト（長岡技大）委託料	7,800千円
鹿児島いずみ農協果実集出荷貯蔵施設建設補助金	18,225千円
鳥獣被害対策実践事業費	18,947千円
獅子島地区林道改良費	9,500千円
獅子島片側地区樹園地モノレール整備費	21,290千円
町道浦汐屋茅屋線の整備	64,080千円
町道早尾掛線の整備	16,700千円
川床小学校トイレ改修費	10,034千円
鷹巣・長島中学校トイレ改修費	37,810千円
令和記念コンサート委託料	5,900千円



指江地区の景観を整備



造形物を設置(写真は汐見地区)



浦汐屋茅屋線を整備

承認

臨時会で決まったこと

専決処分（税条例等・国民健康保険税条例の改正）
平成31年度地方税法等の改正に伴い、条例の一部を改正した。

■ 税条例等の改正の概要

区分	改正内容	施行時期
個人住民税	○ふるさと納税制度の見直し	令和元年6月1日
	○住宅ローン控除の拡充に伴う措置	平成31年4月1日
	○個人住民税の非課税措置	令和3年1月1日
	○住民税申告書等の記載事項の改正	令和2年1月1日
固定資産税	○負担軽減措置の創設	平成31年4月1日
軽自動車税	○グリーン化特例(軽課)の大幅見直し	平成31年4月1日、令和元年10月1日、令和3年4月1日施行
	○需要平準化対策に係る環境性能割の臨時的軽減	令和元年10月1日から令和2年9月30日取得分が対象

■ 国民健康保険税条例の改正の概要

◆ 賦課限度額の改正

区分	改正前(平成30年度)	改正後(平成31、令和元年度)
医療分	58万円	61万円
後期高齢者支援分	19万円	19万円(変更なし)
介護分	16万円	16万円(変更なし)
合計	93万円	96万円

◆ 所得の少ない世帯における軽減判定所得基準の改正

軽減対象となる所得の基準	軽減割合
世帯の所得が33万円以下	7割
世帯の所得が33万円+(28万円×被保険者数) 改正前 27万5千円 \uparrow	5割
世帯の所得が33万円+(51万円×被保険者数) 改正前 50万円 \uparrow	2割

専決処分（平成30年度補正予算）

歳入については交付金や補助金の確定、歳出については事業費の確定等による一般会計と7特別会計の補正予算の専決処分の報告がされ、承認した。

■ 平成30年度補正予算

予算名		補正額	補正後の額
一般会計		▲1億6538万円	123億2256万円
特別会計	国民健康保険	1億1010万円	18億9847万円
	国民健康保険診療施設	▲2120万円	4億3487万円
	へき地診療施設	▲770万円	4511万円
	介護保険	▲2996万円	13億5100万円
	簡易水道	±0(財源組替)	6億1902万円
	後期高齢者医療	▲23万円	1億3482万円
	観光施設	▲340万円	1億4976万円

※専決処分とは、地方公共団体の長が地方自治法第179条第1項に基づいて、自ら処理することをいう。

報告

繰越明許費繰越計算書

平成30年度の一般会計、簡易水道特別会計、国民健康保険診療施設特別会計について翌年度に繰り越されたことが報告された。

■ 繰越明許費繰越計算書

(単位:円)

事業名	翌年度繰越額	事業名	翌年度繰越額
スマイルプラン事業	7,600,000	町道整備事業(過疎債事業)	125,937,000
指江庁舎駐車場用地造成工事	5,461,000	町道整備事業(辺地債事業)	32,328,000
プレミアム付商品券事業	1,557,000	町道整備事業(合併特例債事業)	16,148,000
子ども・子育て支援整備交付金事業	19,921,000	農道整備事業(過疎債事業)	27,400,000
畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業(施設整備事業)	171,948,000	橋りょう維持補修事業(社会資本整備総合交付金事業)	1,910,000
農道維持管理費	7,456,000	消防団救助能力向上資機材緊急整備事業	2,985,000
港整備交付金事業(伊唐北漁港)	10,731,000	長島町立学校施設等長寿命化計画策定事業	5,919,000
漁港機能増進事業(伊唐北漁港)	54,360,000	長島町立小学校空調設置事業	118,019,000
温泉センター檜の湯改修事業	6,820,000	長島町立中学校空調設置事業	170,569,000
道路台帳整備事業	6,100,000	総合運動公園整備事業	106,848,000
夢追い長島花フェスタ事業	5,000,000	単独災害復旧事業	4,554,000
だんだん市場既設駐車場改修事業	10,860,000	県道長島宮之浦港線道路改良に伴う配水管布設替工事	8,200,000
長島・ぐるっと一周景観整備事業(社会資本整備総合交付金事業)	24,000,000	長島町国民健康保険鷹巣診療所及び医師住宅新築工事設計業務委託	13,317,000

※繰越明許費とは、歳出予算の経費のうちその性質上又は予算成立後の事由に基づき年度内にその支出を終わらない見込みのあるものについて、予算の定めるところにより、翌年度に繰り越して使用することができる経費をいう。

■ 小・中学校空調設備設置工事

会計年度	事業名	契約金額	契約の相手方
平成30年度 (繰越事業)	伊唐小学校・平尾小学校 空調設備設置工事	5271万円	九錦・堀元電気 特定建設工事共同企業体
	川床小学校・蔵之元小学校 空調設備設置工事	6264万円	新生冷熱・宮脇設備 特定建設工事共同企業体
	鷹巣中学校・獅子島中学校・ 川床中学校 空調設備設置工事	1億44万円	中央・平田 特定建設工事共同企業体
	長島中学校・平尾中学校 空調設備設置工事	6750万円	南菱・長崎組 特定建設工事共同企業体
平成31年度	伊唐小学校・平尾小学校・ 鷹巣小学校 空調設備設置工事	8532万円	九錦・堀元電気 特定建設工事共同企業体
	川床小学校・蔵之元小学校・ 城川内小学校 空調設備設置工事	7938万円	新生冷熱・宮脇設備 特定建設工事共同企業体
	鷹巣中学校・獅子島中学校・ 川床中学校 空調設備設置工事	5616万円	中央・平田 特定建設工事共同企業体



↑更新される役場庁舎内のパソコン

契約

日立MRI装置グレードアップ事業

鷹巣診療所のMRI装置をグレードアップするため、2862万円で、日立ヘルスケアシステムズ株式会社鹿児島営業所と契約締結することを議決した。

選任

監査委員の選任に同意

長島町監査委員の浦底信市氏が平成31年4月3日に任期満了となったため、識見を有する者のうちから選任すべき監査委員に大堂充博氏（城川内）を選任することに同意した。

小・中学校空調設備設置工事

町内の小・中学校に空調設備を設置するため、次の表のとおり契約締結することを議決した。

契約

定例会で決まったこと

ノートパソコン購入売買契約

役場内に配置されている約300台の業務パソコンが経年劣化及びOS（Windows7）のサポート終了に伴い、更新時期を迎えたことと、執務スペースの縮小化を目的に、今回、300台のうち100台をノート型パソコンに更新するため、973万6,200円で株式会社南日本情報処理センターと売買契約の締結することを議決した。

伊唐北漁港浮棧橋整備工事

伊唐北漁港に浮棧橋を整備するため、5071万円で株式会社植村組と契約締結することを議決した。



↑整備が進む伊唐北漁港浮棧橋

条例

森林環境譲与税基金条例の制定

森林環境譲与税の創設に伴い、森林の整備等を推進するため基金の設置及び管理に關し必要な事項を定めるため条例を制定した。

介護保険条例の改正

介護保険法施行令及び介護保険の国庫負担金の算定等に関する政令の一部を改正する政令等の公布により、保険料率の改正等について次の表のとおり条例の一部を改正した。

■ 介護保険条例の改正の概要

令和元年10月からの消費税率10%への引き上げに併せて、第1号被保険者(65歳以上の方)の介護保険料が、所得段階9段階のうち第1段階から第3段階(世帯全員が住民税非課税)の区分について以下のとおり軽減されます。

所得段階	対象者 (世帯全員が住民税非課税で、合計所得金額+課税年金収入が以下の方)	年額保険料	
		改正前	改正後
第1段階	合計所得金額+課税年金収入≤80万円	29,700円	24,750円
第2段階	合計所得金額+課税年金収入≤120万円	49,500円	41,250円
第3段階	第1・第2段階以外	49,500円	47,850円

放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の改正

児童福祉法による基準の改正に伴い、放課後児童支援員研修実施者の追加と放課後児童支援員資格の追加、児童クラブ開所時間を改正するため、条例の一部を改正した。

報酬及び費用弁償等に関する条例の改正

令和元年10月1日から障害認定審査会の事務を北薩広域行政事務組合で行うことから委員報酬を見直すことと、国会議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律の一部を改正する法律が令和元年5月に公布・施行され、選挙執行に係る報酬を見直すため、条例の一部を改正した。

障害認定審査会の委員の定数等を定める条例の廃止

障害認定審査会の事務を北薩広域行政事務組合で行うことから、条例を廃止した。

陳情

教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1還元、複式学級解消をはかるための、2020年度政府予算に係る意見書採択の陳情について

複式学級の解消など、義務教育費予算は重要な課題であるとの趣旨から、採択した。

町政を問う

一般質問



一般質問とは・・・

各議員が住民の代表として、町の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針を聞き、町当局の考え方や疑問をたずねることです。

単に疑問をはらし、事実関係を明らかにするだけではなく、現行政策の見直しや新規政策を提言するなど、議員の重要な活動です。

令和元年第2回定例会（6月）では次の3人の議員が質問をしました。

1 小田 勝志 (9ページ)

- ・浦底港埋立地の交差点と排水施設について
- ・ふるさと納税について

2 兒玉 誠 (10ページ)

- ・レジャーランド太陽の里の運営について

3 上筋 睦雄 (11ページ)

- ・社会的弱者の安心安全対策について
- ・自然環境保全対策について
- ・指江地区に建設予定の宿泊施設について
- ・防災・減災対策について

小田 勝志 議員



浦底港埋立地の交差点改良及び舗装・排水施設の整備を問う

小田議員 埋立地への進入、進出交差点では、これまで頻繁に事故等が発生している。また、野積場の舗装、道路の線形、排水施設等今後改修が必要ではないか。

①埋立地進入交差点は、現在どちらが優先か。停止線や看板を設けるべきではないか。

②進出交差点（阿弥陀が丘）は本線から鋭角なため見通しが悪く、

道路幅も狭い。重大な事故が発生する前に、

早急な整備が必要ではないか。

③野積場及び福ノ浦の埋立地の未舗装箇所の工事は今年度で完了するのか。

④埋立地の道路幅は狭く線形も悪い。排水施設等も含めて改修すべきでないか。またこの港は船舶も多く、今後、簡易の浮棧橋の設置も



↑鋭角で見通しが悪い進出交差点

考えていくべきでないか。

町長 ①事故防止のため、公安委員会や地元役員の意見を聞き、停止線・止まれの看板等の設置を検討する。

②この交差点は鋭角に本線に取り付いており、登り坂の頂上付近が見にくく事故の発生が懸念される。来年度、測量設計し、妥当な道路線形の検討を行う。

③未舗装箇所は全体で2500平方メートル。今年度予算は500万円であり、来年度に完了予定である。

④埋立地道路の測量を行い、線形の検討をする。排水施設等改修の必要はあるが、他地区も考慮しながら事業費の試算をし、緊急性のある箇所から改修する。

簡易の浮棧橋は令和

3年度より港整備交付金事業があり、その中で他港も含めて検討していく。

ふるさと納税の今年度の寄附目標額と返礼品の見直しは

小田議員 今年6月よりふるさと納税は、「地域産品に限定し、調達費は寄附額の3割以下」とする新制度に移行した。北海道かみしほろ上士幌町は人口約5000人の小さな町であるが、昨年度の寄附額は約2億円にのぼる。

上士幌町では寄附者に対し、東京を中心にこれまでに5回感謝祭を開催し、町のPRを含めて寄附者との繋がりを深めている。

①昨年度の寄附額はいくらか。また、今年度の目標額はどれくらいか。

②新制度になり、返礼品の見直し対策はどのようにしているか。また寄附者を対象に感謝祭を開く考えはないか。

町長 ①昨年度は全国から12800件の寄附件数があり、2億600万円を超える寄附があった。目標額の3億円には届かなかつたが、今年度も同じ3億円を目標額としている。

②寄附申込者の要望を取り入れながら、長島ならではの特色ある返礼品を取り扱い、新規返礼品の開発に力を入れる。また、新商品の開発も業者と提携する予定である。

先進地研修先として、上士幌町のふるさと納税の取組状況を調査するため、担当職員を派遣し、寄附金の増額に繋げる。

兒玉 誠議員



レジャーランド太陽の里の運営は

経営改善のスケジュールは

兒玉議員 令和元年度の観光施設特別会計予算において、前年度の繰上げ充用により、5月14日にその財源として605万1千円が増額補正された。平成30年度の観光施設特別会計の施設別収支の資料を見ると、太陽の里が約1000万円、東泉望が2200万円、椿の湯が1200万円の赤字で、合計で4000万円を超え

る赤字となっている。

職員は太陽の里が14名、東泉望が5名、椿の湯が4名で合計23名。パートの方も含めると40名弱になると聞いている。

このことは、雇用の観点から考えると大変重要な施設である。一方、本町の観光振興の拠点及び町民の憩いの場として、安定的な運営が求められている。そこで、経営改善へのスケジュールとして、経営改善策の取りまとめ及び効果発現の用途をどのように定めているか。

町長 経営

改善の基本姿勢の1番目に、売り上げを伸ばすより赤字にしない経営を位置づけ、職員の意識改革、職場環境づくりや地域の方々から利用される施設運営に取り組む。

2番目に人件費を含む諸経費を見直し、客単価や集客の向上など、経営改善に取り組むことで、収益黒字も可能な施設と考えている。3年目をめどに改善に取り組んでいきたいが、今年度早い時期に結論が出るものについては、状況を見ながら決断していきたい。



↑テニスコート

施設整備の充実及び新たな戦略は

兒玉議員 経営改善を進める上で、経費の削減だけでは限界がある。老朽化あるいは時代のニーズに合わない施設のリニューアル及び新たな戦略として、
①今回執行の委託事業で取り組んでいるか。
②ケビンの改修を行う考えはないか。
③総合戦略でおもちゃ美術館の構想があったが、東泉望の前、あるいは

はテニスコートに屋内遊戯施設設置の考えは。
④紫陽花の里を整備する考えは。
⑤景観の良い太陽の里本館北側や鷹巣城周りを利用して、バーベキューを看板メニューとして考えられないか。

町長 ①委託した内容は、あくまで経営診断ということ、施設の老朽化の調査、リニューアルは含まれていない。
②夏休み・冬休みにはケビンの使用頻度が高まるので、今後もある程度の改修は必要と考えている。
③新聞記事にも木材を利用して子どもたちが遊びに来て

いるという



↑太陽の里本館北広場

記事が出ていたが、安定的にその集客の施設になり得れば可能だが、新たな民間の宿泊施設進出により、問題が生じる懸念がある。
④紫陽花の名所にもなり得るというのを実感しているので、担当者と協議研究したい。
⑤太陽の里裏はバーベキューのため整備した経緯がある。今年はバーベキュー、またそれ以外でもこのスペースを使っていきたい。

上筋 睦雄 議員



社会的弱者の安心 安全対策を問う

上筋議員 高齢者、学童、園児等社会的弱者の悲惨な交通事故が報道されている。

便利になった自動車の構造上の要因、年齢や誤操作など人的要因、公的交通機関の未整備による社会的要因、原因は様々である。

ラの設定等、高齢者や子どもが安心して利用できる、安全で便利な

ドアツードアの交通サービス施策、工夫等はあるか。

町長 警察等の検証に基づき、ロードミラーやガードレールなどの

安全施設の設定等を行っている。

今後とも老人クラブへの高齢者講習会、子どもたちへの登下校時の

街頭指導や見守り活動を行っている。

ドアツードア等オンラインデマンド交通の調査研究は行っていない。

防犯カメラは、現在

3箇所設置している。要望があればさらに設置する。

教育長 全ての学校で教育課程に安全指導を位置づけ、安全に対する教育を行っている。

環境基本条例を制定する考えは

上筋議員 「令和」。素晴らしい響きの元号である。美しくかぐわしい日本を、人々が穏やかに享受し、子々孫々に継承しようとの御心。

長島の素晴らしい自然・環境を継承するのは、令和に生きる私たちの使命・責任である。

長島町環境基本条例（私案）を考察した。第1条から第14条は、住民・事業者・行政の三者が協働して長島の環境を整え、健康で住みよい町づくりを目指す

するための条例である。制定の考えは。

町長 平成30年6月と9月の質問への回答と同じく、議会でも意見の一致が見られなかったと聞く。

町としても、環境基本条例制定の必要性も概念性も感じていない。

指江地区に建設予定の宿泊施設を問う

上筋議員 以前、本年夏には完成すると議会・住民に対し説明があった指江地区に建設予定の宿泊施設の進捗状況を問う。

不可能ならば、次の一手、次善の施策は考えているか。

町長 12億円の協調融資の決定が7月、10月初旬に着工、完成オー

プンが令和2年11月を見込んでいるとの報告を得ている。

防災・減災対策について

上筋議員 長島町地域防災計画の進捗状況を問う。時間単位、12時間前、6時間前、3時間前に地域ごとの予測被災情報を発信する項目は加筆されたか。

昨年要望した大雨災害の予想される3箇所（脇崎の急傾斜・造成中の山中地区多目的広場・小浜川の浚渫）の

措置と進捗状況を問う。

町長 地域防災計画は平成30年度予算で作成が終わり、関係機関に配布する。

脇崎の急傾斜地対策は終わった。山中地区の造成工事は、都市計画法に基づき十分検討・実施。今後とも関係者と共に、防災対策を行っていく。

小浜川については、県・関係機関と現場確認を実施。予算も付いたので早急に発注する。



↑ 造成中の山中地区多目的広場

2つの委員会での議案等審査

2つの常任委員会で議案等を審査
各委員会の主な審議内容を紹介

総務民生常任委員会 委員長 林 誠治

●一般会計補正予算

等で構成する実行委員会に委託する。

▼企画財政課関係

問 特定離島ふるさと

おこし事業予算の観光物産宣伝費と、ふれあい交流対策費の事業内容と委託先は。

答 獅子島交流イベントとして、アイランダー、島々フェア、ふるさと市場、獅子島婚活事業を実施するため、獅子島の公民館長

問 Wi-Fiは現場に何基設置するか。一般家庭での保守料は必要か。

答 鷹巣庁舎の1階から3階までに5基設置する。Wi-Fiの保守料は一般家庭では不要。

である。そのため、強化プラスチック製となるため割高となっている。

▼地方創生課関係

問 新規事業として計画するエネルギー構造高度化、転換理解促進事業の内容は。

答 再生可能エネルギーを活用した電力供給システムの実証試験を、指江庁舎を利用して行う。太陽光パネル32枚、パワーコンディショナー2台、蓄電ユニット2台、保冷庫1台設置。

転換理解促進事業は、再生可能エネルギー利用の教育を地域

と一体となって推進する事業である。

▼福祉事務所関係

問 プレミアム付商品券の購入手続き、限度額、使用期間は。

答 対象者に申請書を送付する。役場で発行する引換券を商工会に提出して購入する。5000円の商品券を4000円で購入できるが、1人5冊までとなる。今回の商品券の使用期間は、令和元年10月1日から令和2年3月31日までの半年間である。

病室数は。また、間取りは広くなるのか。

答 部屋数及び広さは、1人部屋が11室で12平方メートルから17平方メートルに。4人部屋が2室で18平方メートルから35平方メートルになる。

なお、診療所は8月に着工し、来年3月に完成見込みである。

●条例

▼長島町介護保険条例の一部を改正する条例について

問 今回、保険料が減額となる段階別対象者数は。

答 第1段階者が1107名、第2段階者が406名、第3段階者が286名、合計1799名で、総額1295万円の減額である。

める条例の一部を改正する条例について

問 改正される5年以上放課後児童健全育成事業に従事した者とは。

答 中学校以上を卒業したものが、5年以上育成事業に従事し、当該認定資格を取得した者となっている。

▽委員会の意見

①新築予定の鷹巣診療所及び医師住宅箇所の現地調査を実施した。配置図等から説明のあった駐車台数の30台は少なすぎるので、再考すべきである。

②現在の医師住宅は、雨漏り等が発生しているので解体の予定と説明を受けたが、住宅地として最高の立地条件でもあるので、リフォームし、定住促進、町営住宅等に転用して有効活用すべきである。



↑昨年度のアイランダーの様子

答 山門野はコンクリート製品。小浜は設置場所が狭小で高低差もあり一部造成が必要

転換理解促進事業は、再生可能エネルギー利用の教育を地域

問 新築する診療所の

▼長島町放課後児童健全育成事業の設置及び運営に関する基準を定

建設経済文教常任委員会 委員長 小田 勝志

●森林環境譲与税基金条例

問 譲与税は年間いく
ら配分されるのか。

答 年間あたり、令和
元年～3年度は442
万3千円、4～6年度
は663万5千円、7
～10年度は940万
円、11～14年度は12
16万5千円、15年度
以降は1493万円の
予定である。

●一般会計補正予算

▼水産商工課関係

問 太陽の里遊具の種
類と修繕箇所数は。

答 新たに整備された
駐車場の道路を挟んで
反対側にある大型複合
遊具で、修繕箇所は細
かいものを含め多数あ
る。

▼景観推進課関係

問 危険空家解体撤去
事業は今年度14棟でき



↑大型複合遊具

るとのことである。残
りの棟数は。

答 昨年度38棟の応募
のうち28棟が補助対象
となり、4棟を解体撤
去し、残りが24棟とな
る。今年度も引き続き
募集する。

▼教育総務課関係

問 トイレ洋式化につ
いて川床小学校15箇
所、鷹巣中学校27箇所、
長島中学校20箇所の計
画であるが、3校全て
のトイレ改修が終わる
のか。また、未改修は
何箇所か。

答 川床小学校、長島
中学校はプールのトイレ、
鷹巣中学校は武道
館のトイレが対象外で
あり、未改修のトイレ
は3校以外の学校で52
箇所である。

▼農林課関係

問 種イモ自給体制構
築プロジェクトの委託
料780万円の内訳
は。

答 新しい種イモ生産の
術による種イモ生産の
実証として、人件費や
ほ場借り上げに471
万5千円、種イモ供給
事業の事業性評価調査
費等に135万円、地
域理解促進、消費者向
けの講演会、料理教室
等の経費に173万5
千円である。

▼耕地課関係

問 片側地区の樹園地
既設モノレール・撤去
から新設工事が完了す
るのはいつか。

答 設計委託時点の9
名であれば、来年度に
完了。増える場合は後
2年かかる。

▼建設課関係

問 浦汐屋茅屋線の工
事内容と完成予定はい
つか。

答 改良が340m、
舗装が140mの計
画。今年度程度の予算
が付けば来年度完成予
定。

▼学校教育課関係

問 教育講演会の講師
謝金は当初予算で組ま
れているのか、講師は
どのような人か。

答 謝金は当初予算の
範囲内で支給予定。講
師は東京の独立行政法
人情報処理推進機構の
石田淳一氏である。

▼社会教育課関係

問 令和記念コンサー
トは何回開催予定か。
また、青年団の委託料

と自主文化事業グッズ
販売収入の内容は。

答 コンサートは1回
講演で、委託は講演時
の交通整理、チケット
販売、グッズ製作等で
ある。販売収入は、製
作したグッズの売り上
げから20万円の収入を
見込んでいる。

●観光施設特別会計
補正予算

問 太陽の里、椿の湯、
東泉望の消費税軽減率
対応のレジ購入金額の
40万円に対して、歳入
が100万円位必要と
思われるが、現状の経
営状況で歳入は確保で
きるか。レジ購入は一
般会計でできなかった
のか。

答 歳入については営
業努力と経営改善を基
に達成できるように努
力する。レジは観光施
設で使用する物品なの
で、特別会計で計上し
た。

北海道地方の 視察研修報告

議長 林 義明

○バレイシヨの 調査研究

長島町議会は、5月21日から23日までの3日間、北海道の国立研究開発法人農研機構種苗管理センター北海道中央農場と、上士幌町を視察研修した。

バレイシヨは本町の基幹産業であり、種芋を北海道に委ねている状況である。しかし、農水省の発表では、発生すれば根絶に30年以上かかるといわれるジャガイモシストセンチュウが北海道の52市町村で発生。北海道外では長崎県、青森県、三重県、熊本県で発生が確認されているところであり、種苗生産が懸念されている。

北海道と長崎県にはジャガイモの種苗センターがあるが、鹿児島県内にはないので、健全無病な種芋を生産できる種苗研究センターを本町に設置する可能性を探るため、北海道の種苗センターを研修した。

国立研究開発法人農研機構種苗管理センター北海道中央農場は



↑研修を受ける議員ら

札幌市の東方約20キロに位置し、昭和22年に農林省馬鈴薯原原種農場の一つとして設置。その後、種苗関係業務を一体的、総合的に実施する機関として種苗管理センター北海道農場と改称した。

現在、85品種を取り扱っている。なかでも一番印象が強かったのは、バレイシヨの養液栽培に遮光シートを用いて人工的に土壌栽培と同じ環境をつくり、培養液を計画的に与えながら塊茎形成を促すことで土壌

同施設では、バレイシヨの原原種の生産・配布、農林水産物の品種登録に係る栽培実験及び品種保護対策、また農産物の種苗検査・研究、植物遺伝資源の保存・増殖などである。

による通常栽培



↑施設の職員から説明を受ける議員



↑器内増殖の様子



↑種苗センター敷地内にある抵抗性品種緊急増殖施設



↑培養液をつくる装置



↑数十センチに伸びた根



↑水耕（養液）栽培の様子

○ふるさと納税の寄附金の活用

培と比較して長期間の栽培が可能で多くの収量を得ることができ。これによって、原産種の安定供給と、新品種の早期普及を目指すという栽培方法であった。

種苗センターは病害虫の進入防止柵が徹底された隔離施設にミニチューパーの生産施設

があり、増殖により原産種が生産されているが、本町での生産はミニチューパーから直接圃場に増殖する方法

と、挿し穂を検討すべきである。しかし、病気の発生リスクが伴うので、土壌消毒等を徹底し栽培を試みたらと考える。

現在、本町では長岡技術科学大学と共同で種苗生産の研究が行われている。今後もバレイシヨ産地としての特色を生かした事業展開を望む。

上士幌町は北海道十勝地方の北部、日本一広い国立公園である大雪山国立公園の東山麓に位置し、人口約5000人。基幹産業は酪農などの農業や林業が中心である。

5年前には消滅可能性都市の一つだったまちが、理屈や前例にとらわれず官民協働で果敢に挑んだ結果、出生率向上、高齢化率低下、一人当たりの平均所得も伸びすなどの実績を上げ

て、今では「乳幼児から高齢世代まで、健康で安心に暮らせる町」として全国

から注目されている。なかでも、ふるさと納税の寄附金を有効活用している。

寄附額は平成25年度の2億円から始まり、今では年間20億円まで伸ばしている。

この制度を利用して、「就学前の保育・教育の充実」、「学力と体力の向上と豊富な経験を目指した地域ぐるみの教育」、「手厚い

医療・保険・福祉支援」、「子育て世代が安心できる住環境」の4つをテーマに子育て支援を展開。町内の認定こども園の保育料無料、高校卒業までの医療費全額無料、住宅の新築補助金として子ども一人100万円助成など様々な面から支援を行っている。「夢と活力がある福祉の充実したまちづくり」を基本理念に掲げる本町と近いものを感じた。

また、酪農が盛んである上士幌町は糞尿処理の問題がある。その対応として、バイオマスによるガスをエネルギーに転化させる原料として活用されている。このように、国が目指す地方創生に一石を投じた町である。

今回の研修で感じたことは、寄附金が医療や福祉、子育て支援に細かく多岐に渡って使

われていたことに驚かされた。ただ単に、返礼品だけでは20億円も寄附金は到底集まらないだろう。使い道を明確化することで寄附者から興味を持っていただき、応援したいと思っていただけのではないか。本町でも参考にすべきである。

また、ふるさと納税の寄附者との向き合い方も参考になった。寄附をいただ

いてから返礼品を送って終わりでなく、その方々と今後どう繋がっていくか。上士幌町では寄附者を対象に年に1度、都心で感謝祭を開催するなど、寄附後の繋が

りを大事にしていた。当初は返礼品目当ての寄附であるかもしれないが、その後の繋がりにより一過性の興味から、持続した興味に転換していくことが可能ではないか。長島出身者を含め、長島を応援してくださるふるさと納税の寄附者と更に関係を続けていく。このことが一番大事なことで強く感じた。



↑上士幌町の町長が自ら説明



↑寄附金を原資に保育料無料となった「認定こども園・ほろん」

議会のうごき

4月

5日	県町村議会議長会第1回理事会
11日	第3回議会運営委員会
12日	転入学校教職員宣誓式
13日	コンビニ建設地鎮祭
14日	町消防団入退団式
16日	第1回広報特別委員会
17日	阿久根地区消防組合例月現金出納検査(阿久根市)
21日	山門野集落合併式典・祝賀会
22日	第2回広報特別委員会
23日	例月現金出納検査 長島町教育関係者・管理職合同歓迎会
25日	県政説明会(鹿児島市)
26日	阿久根地区消防組合阿久根消防署東分遣所開所式
28日	獅子島招魂祭

5月

1日	新元号「令和」縁の歌人「大伴旅人」歌碑除幕式
6日	第9回夢追い長島花フェスタ閉会式
7日	県離島振興町村議会議長会総会(鹿児島市)
8~9日	県町村議会議長会臨時総会・議員研修会(鹿児島市)
10日	令和元年第1回臨時会に係る議会運営委員会
14日	第1回臨時会
15日	北薩空港幹線道路整備促進期成会総会(さつま町)

21~23日	議員研修(北海道北広島市・上士幌町)
24日	例月出納現金検査

6月

28~29日	全国町村議会議長・副議長研修会(東京都)
29日	北薩広域行政事務組合議会定例会(出水市)
27日	北薩広域行政事務組合議会全員協議会(出水市)
27日	第13回長島町商工会通常総会
3日	令和元年第2回長島町議会定例会に係る議会運営委員会
4日	「サンセット牛之浜景勝地」道の駅整備促進協議会令和元年度第1回協議会
7日	第2回定例会開会(17日まで)
15日	島原・天草・長島架橋構想及び九州西岸軸構想推進地方大会(天草市)
21日	例月現金出納検査 ファミリーマートながしま指江店開店セレモニー 東町漁協第71回通常総会 長島町消防操法大会



編集後記

「五月女に秋男」ということわざがあり、田植えと収穫には多くの人手が必要だという意味ですが、田んぼでは一人で作業が行われ、更に短時間で終わってしまいます。若者には理解しにくいかもしれません。

スマート農業という言葉が使われますが、無人のトラクターも間もなく目にするようになるのでしょうか。

一方、コントロールできない気象では、「数十年に一度」から、「これまでで経験したことがないような」や「災害級」の大雨という用語が使われるようになっていきます。「平年並み」という報道にホッとすることの頃です。

6月から鷹巣局管内で光回線のサービスが始まり、2年後には全町で利用できることになり、ICT、AI、IoTという言葉がより身近になってきます。

議会だよりも進化を目指し、今号では表紙を一新しました。内容の充実に向けて委員一同議論を重ねてまいります。(児玉)

【発行責任者】 議長 林 義明

【編集】 議会広報特別委員会

- 委員長 児玉 誠
- 副委員長 上筋 睦雄
- 委員 二階堂 猛
- 委員 小田 勝志
- 委員 林 誠治